

人権啓発に関するアンケート調査結果

人権施策推進課

1 調査目的

県では、県民の皆さんに、女性、子ども、高齢者、障がい者、部落差別(同和問題)などさまざまな人権問題に関する正しい理解を深めていただき、「一人ひとりの人権が尊重される差別のない社会」を実現するため、総合的かつ効果的な人権教育・啓発の推進に取り組んでいます。

そこで、人権問題に対する県民の皆さんの意識や生活の現状を把握し、今後の人権施策の基礎資料とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象など

調査対象: 県政モニター802人(郵送モニター305人、インターネットモニター497人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和4年12月1日～12月21日

回収結果: 661人(回収率: 82.4%)

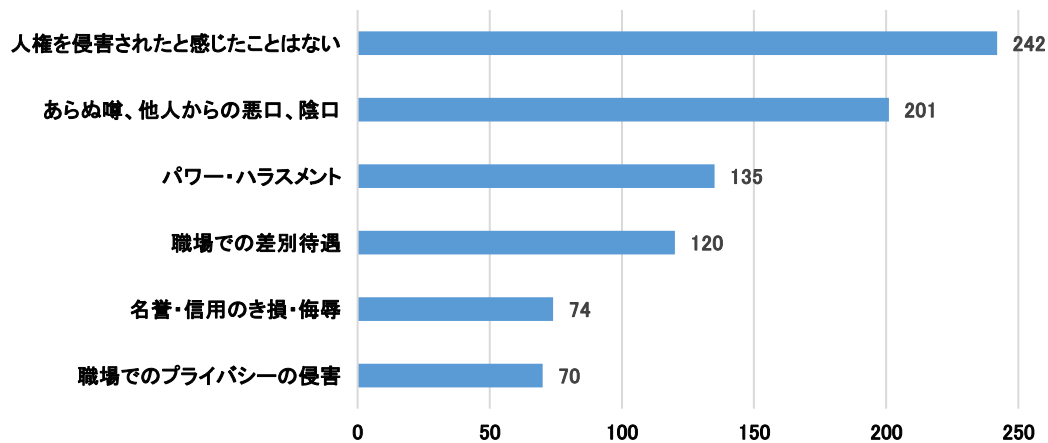
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

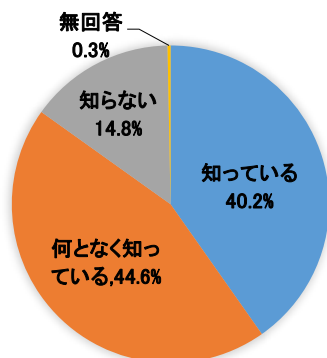
○人権侵害について

人権侵害を受けた経験とその内容(※上位5つ)

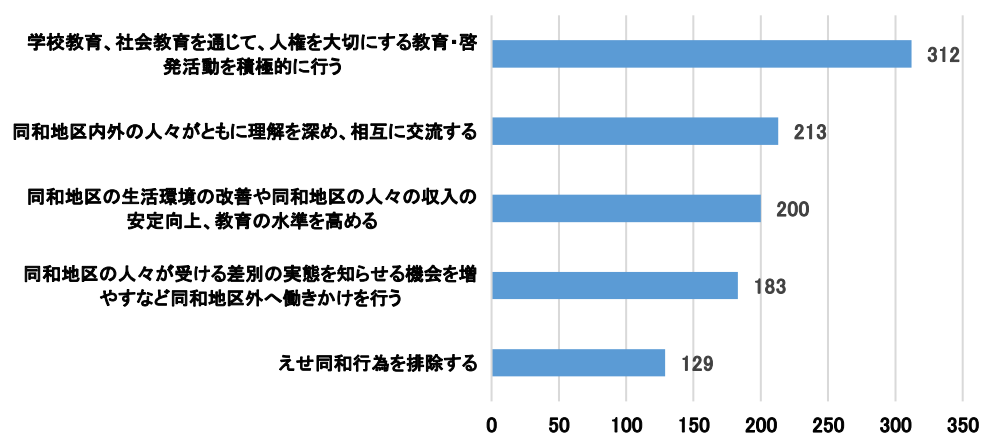


○部落差別(同和問題)について

部落差別の認知度



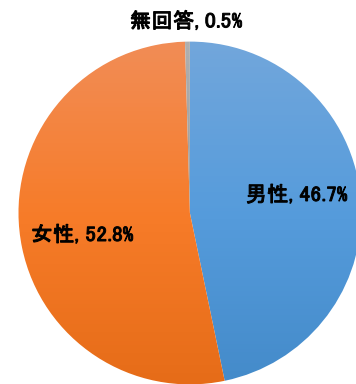
部落差別を解消する方法(※上位5つ)



4 回答者属性

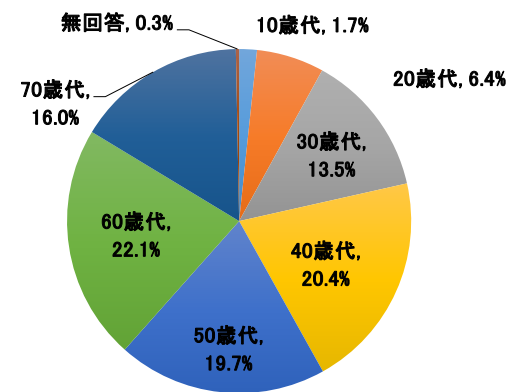
(1) 性別

	人数	割合
男性	309	46.7%
女性	349	52.8%
無回答	3	0.5%
計	661	100.0%



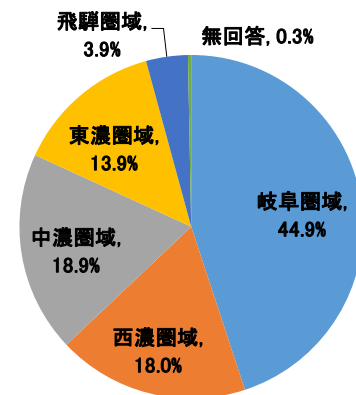
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	11	1.7%
20歳代	42	6.4%
30歳代	89	13.5%
40歳代	135	20.4%
50歳代	130	19.7%
60歳代	146	22.1%
70歳代	106	16.0%
無回答	2	0.3%
計	661	100.0%



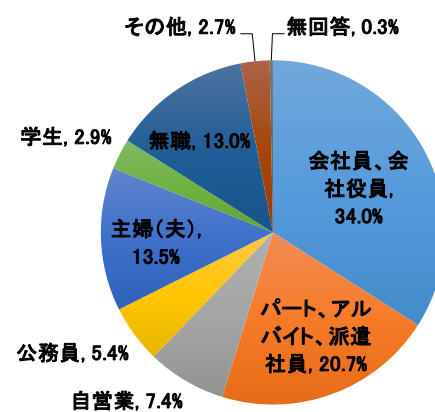
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	297	44.9%
西濃圏域	119	18.0%
中濃圏域	125	18.9%
東濃圏域	92	13.9%
飛騨圏域	26	3.9%
無回答	2	0.3%
計	661	100.0%



(4) 職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	225	34.0%
パート、アルバイト、派遣社員	137	20.7%
自営業	49	7.4%
公務員	36	5.4%
主婦(夫)	89	13.5%
学生	19	2.9%
無職	86	13.0%
その他	18	2.7%
無回答	2	0.3%
計	661	100.0%

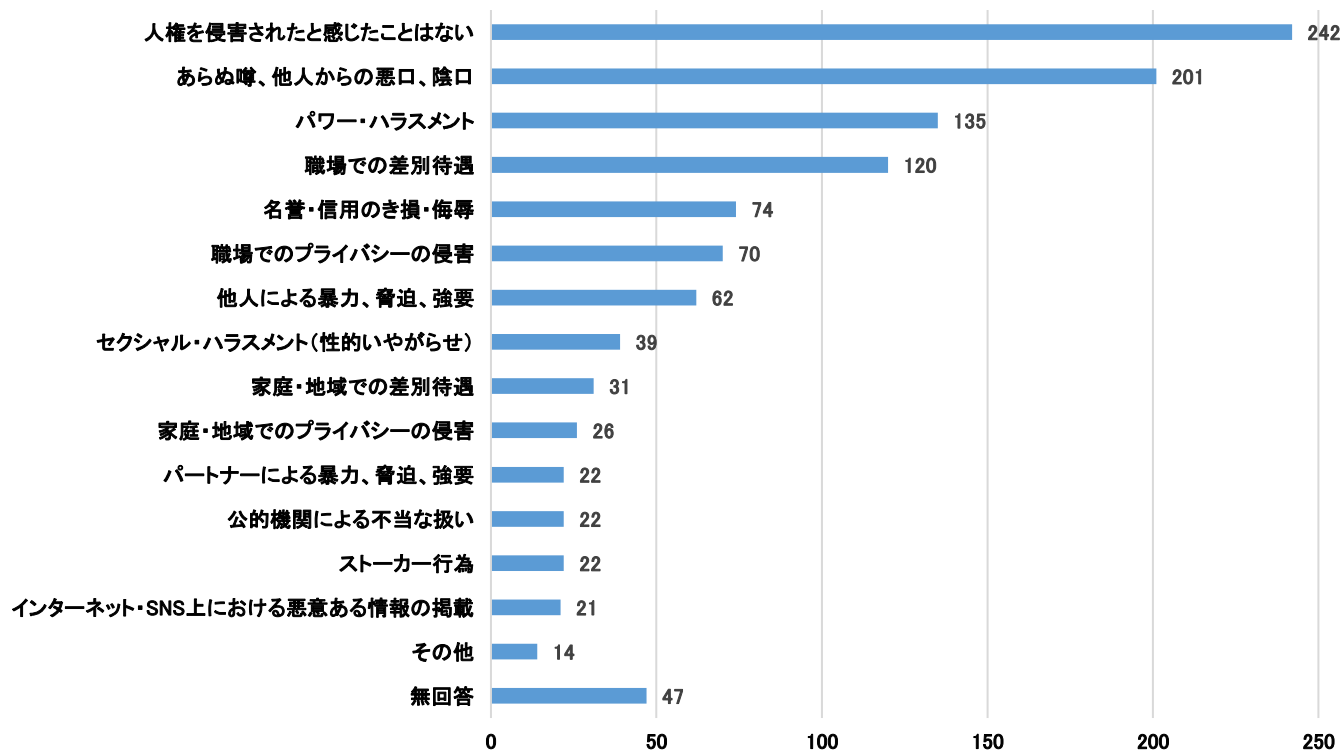


5 調査結果

問1 あなたは、これまでに人権を侵害（暴力、脅迫、強要、プライバシーの侵害、差別待遇等）されたと感じたことがありますか。
また、侵害されたと感じたことがある場合、それはどのような人権侵害ですか。

回答者 661 人（複数回答）

	回答数	割合
人権を侵害されたと感じたことはない	242	36.6%
あらぬ噂、他人からの悪口、陰口	201	30.4%
パワー・ハラスメント	135	20.4%
職場での差別待遇	120	18.2%
名誉・信用のき損・侮辱	74	11.2%
職場でのプライバシーの侵害	70	10.6%
他人による暴力、脅迫、強要	62	9.4%
セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)	39	5.9%
家庭・地域での差別待遇	31	4.7%
家庭・地域でのプライバシーの侵害	26	3.9%
パートナーによる暴力、脅迫、強要	22	3.3%
公的機関による不当な扱い	22	3.3%
ストーカー行為	22	3.3%
インターネット・SNS上における悪意ある情報の掲載	21	3.2%
その他	14	2.1%
無回答	47	7.1%
計	1148	—



「その他」のうち主なもの

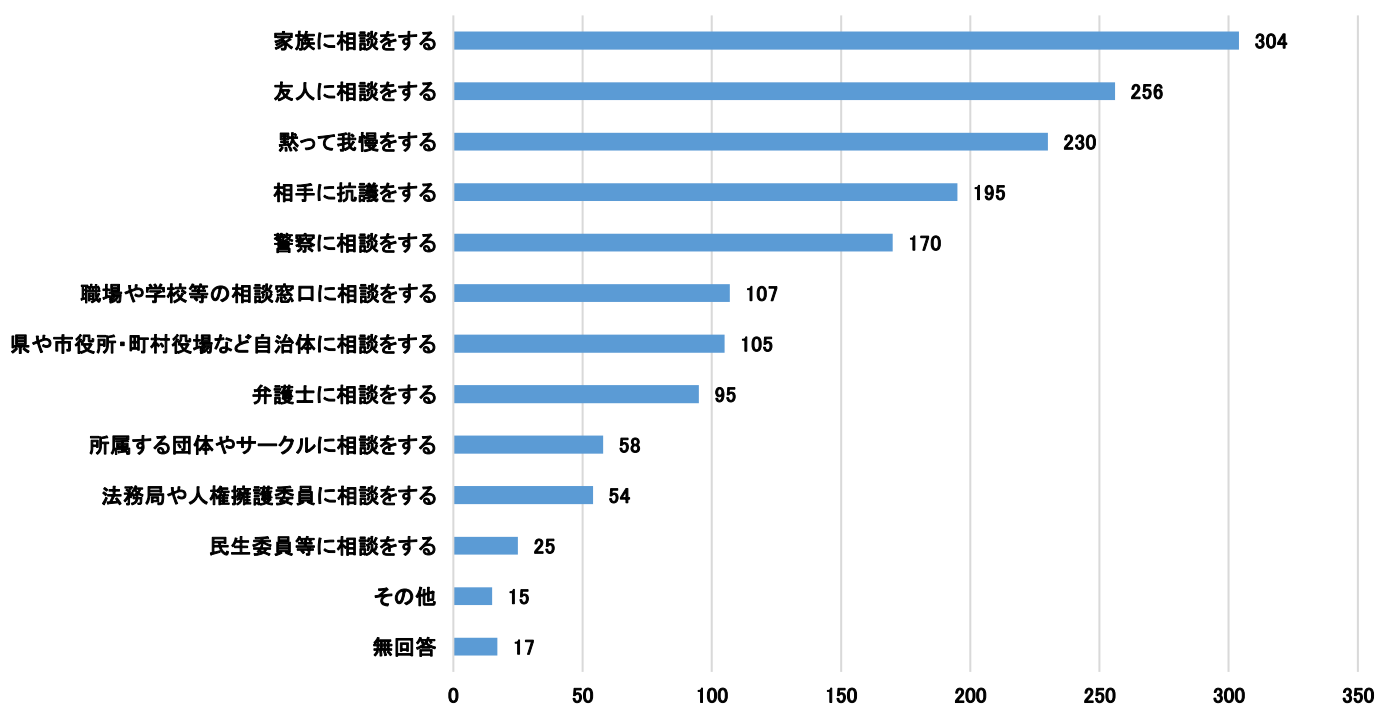
- ・ 男女差別、女性だと話も聞いてもらえない。
- ・ 就職活動時、“出身大学(学歴)”を理由に採用試験を一切受けさせてもらえなかった。
- ・ カスタマーハラスメント(職場でお客様から受ける強要)
- ・ アカデミックハラスメント
- ・ 宗教差別、靈感被害
- ・ あおり運転と暴言

等

問2 もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。

回答者 661 人（複数回答）

	回答数	割合
家族に相談をする	304	46.0%
友人に相談をする	256	38.7%
黙って我慢をする	230	34.8%
相手に抗議をする	195	29.5%
警察に相談をする	170	25.7%
職場や学校等の相談窓口相談をする	107	16.2%
県や市役所・町村役場など自治体に相談をする	105	15.9%
弁護士に相談をする	95	14.4%
所属する団体やサークルに相談をする	58	8.8%
法務局や人権擁護委員に相談をする	54	8.2%
民生委員等に相談をする	25	3.8%
その他	15	2.3%
無回答	17	2.6%
計	1631	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 人権侵害の程度による。
- ・ 内容によりけり。
- ・ 人権侵害を受けたときに考える。
- ・ 場合による、わからない。
- ・ その時の内容で行動する。
- ・ インターネットやYouTubeで対処法を検索をする。
- ・ 上司に相談をする。
- ・ 口を利かないようにする。

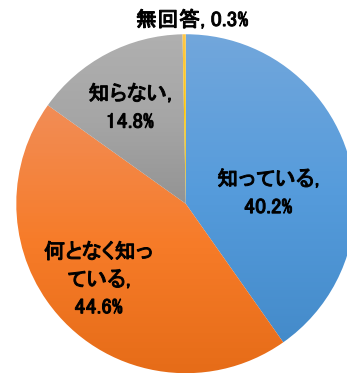
等

部落差別（同和問題）について

問3 部落差別又は同和問題といわれているものがどういう内容のものか知っていますか。

回答者 661 人

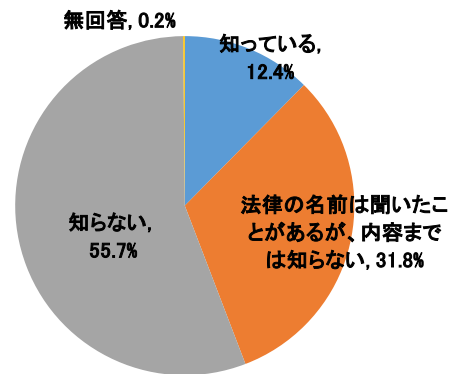
	回答数	割合
知っている	266	40.2%
何となく知っている	295	44.6%
知らない	98	14.8%
無回答	2	0.3%
計	661	100.0%



問4 あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」を知っていますか。

回答者 661 人

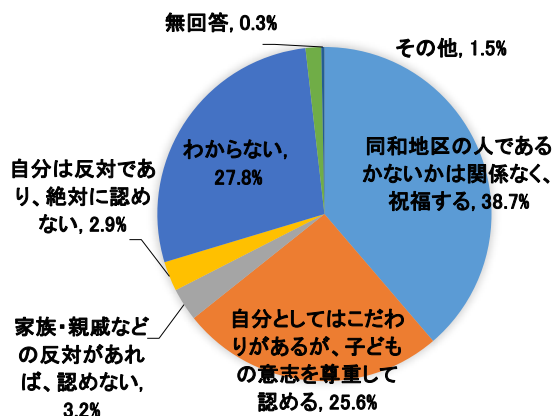
	回答数	割合
知っている	82	12.4%
法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない	210	31.8%
知らない	368	55.7%
無回答	1	0.2%
計	661	99.8%



問5 あなたのお子さんが（いらっしゃらない場合は、いると仮定してお考えください）、同和地区出身者の人と結婚するとしたら、あなたはどのようにしますか。

回答者 661 人

	回答数	割合
同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する	256	38.7%
自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める	169	25.6%
家族・親戚などの反対があれば、認めない	21	3.2%
自分は反対であり、絶対に認めない	19	2.9%
わからない	184	27.8%
その他	10	1.5%
無回答	2	0.3%
計	661	100.0%



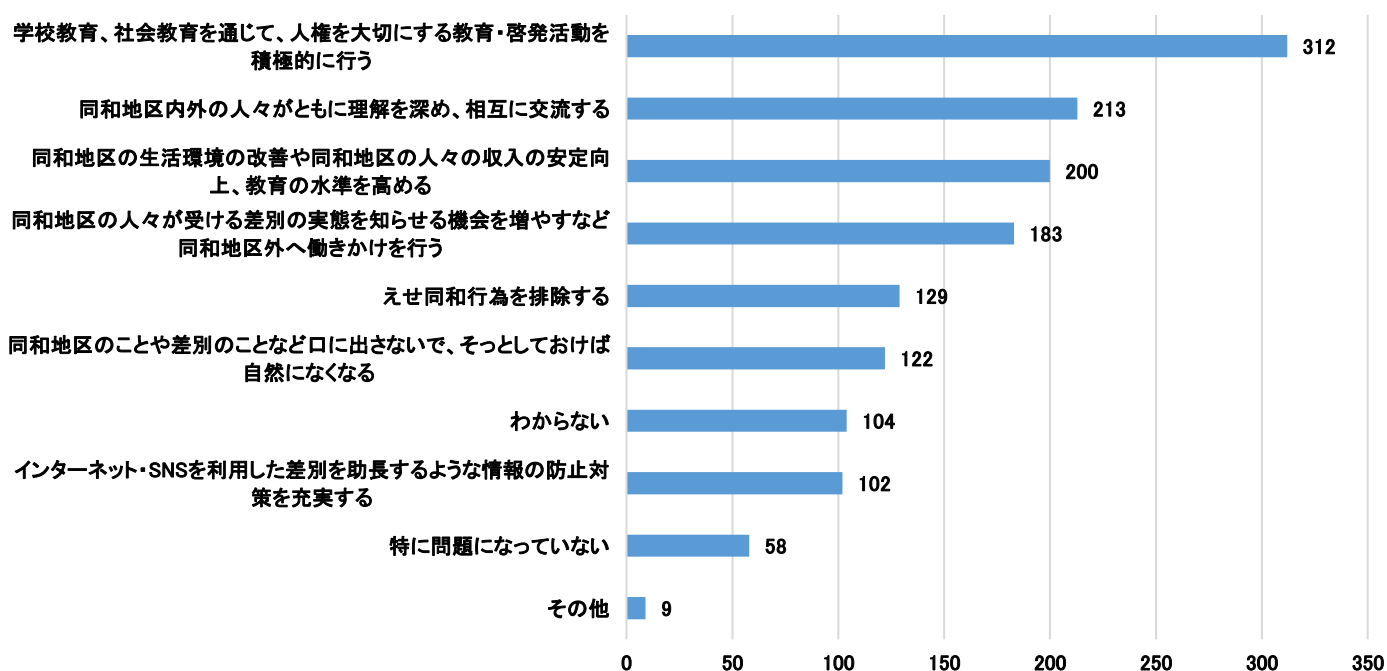
「その他」のうち主なもの

- ・ 実際その立場にならないとわからない。
- ・ 相手の人柄と家族の方々の人柄を知ってから決める。
- ・ 出身地区ではなく、相手の人柄、家族、資産に問題がないかが重要。
- ・ 当事者に地区出身の意識がなければ問題とせず祝福したい。
- ・ 頭では理解しているが、やはり反対してしまうと思う。
- ・ 反対ではあるが、その時(相手の性格など)による。

問6 部落差別（同和問題）を解消するためには、どうしたらよいと思いますか。

回答者 661 人（複数回答）

	回答数	割合
学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う	312	47.2%
同和地区内外の人々がともに理解を深め、相互に交流する	213	32.2%
同和地区の生活環境の改善や同和地区の人々の収入の安定向上、教育の水準を高める	200	30.3%
同和地区の人々が受ける差別の実態を知らせる機会を増やすなど同和地区外へ働きかけを行う	183	27.7%
えせ同和行為を排除する	129	19.5%
同和地区のことや差別のことなど口に出さなくて、そっとしておけば自然になくなる	122	18.5%
わからない	104	15.7%
インターネット・SNSを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	102	15.4%
特に問題になっていない	58	8.8%
その他	9	1.4%
計	1432	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 自分の住む地域では、昔はあったが、今はほとんど意識がなくなってきた。
- ・ 高齢の方たちで差別している人は未だいるが、若い世代でそういう人に会ったことがない。世代が変われば自然に薄れると思う。過去のことなんて今の人に関係ない。
- ・ 80代以上だと露骨に嫌う人もいるが、もう少し月日が経てばやわらぐのではないかな。
- ・ 部落の人だからというより、その人自身の個性に問題がある場合もある。
- ・ 問題にして特別に扱うから、それが差別になるのではないかな。

等